

2019年3月5日
イオン九州株式会社

6年連続「DBJ 環境格付」最高ランク取得

イオン九州株式会社（代表取締役社長：柴田 祐司、以下 当社）は、株式会社日本政策投資銀行（代表取締役社長：渡辺 一、以下 DBJ）の「DBJ 環境格付」において6年連続の最高ランク認定を取得いたしました。

「DBJ環境格付」は、DBJが開発したスクリーニングシステム（格付けシステム）により企業の環境経営度を評価化。優れた企業を選定し、得点に応じて融資条件を設定するという世界で初めての融資メニューです。

当社は、イオングループの一員として地域に根ざした事業展開を行っている九州地区の代表的な総合小売事業者として、環境配慮型商品の販売や廃棄物の削減および再資源化、CO₂削減に向けた植樹活動など、環境への取り組みを通じた地域社会への貢献に積極的に注力しています。

今回の格付では、以下の点が高く評価されました。

【DBJ 環境格付】

1. アミノ酸発酵過程で発生する副産物を活用した堆肥を利用した「九州力作野菜・果物」を開発し、高付加価値商品としてブランド化を図ることで、環境配慮に加え九州地域の農業活性化にも貢献している点
2. 店舗設備ごとにエネルギー使用量を把握したうえで、店舗実査を踏まえた設備更新や改善指導を通じ、ハード・ソフト両面から店舗における環境負荷削減に着実に取り組んでいる点
3. 事業環境の変化や消費者嗜好の多様化を勘案し、中期経営計画に沿って「新業態開発プロジェクト」を中心に都市型小型店モデルの構築を進めるとともに、九州地域のグループ会社と協働で九州商品開発部を設立し、地元産品を活用した独自価値の創造に注力している点

その結果、当社は6年連続で「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」という格付けを取得いたしました。

当社はこれからも、持続可能な社会の実現に向けて環境に配慮した経営を推進いたします。



当社は、平成31年2月日本政策投資銀行（DBJ）より環境格付融資を受け、格付結果は「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」と評価されました。